

事業所名

富里市簡易マザーズホーム

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

3日

法人（事業所）理念	発達の良いお子さんが保護者と共に通園し、療育を受ける事業所です。遊びを中心とした取り組みの中で、大切な乳幼児期の情緒、運動の発達を目指し、子育てのお手伝いをします。				
支援方針	お子さん一人ひとりを理解し、御家族とともにお子さん自身が持っている力を発揮できるよう、お手伝いさせていただきます。生活リズムや基本的な生活習慣を身につけ、人と関わるルールや、人と関わり遊ぶ事の楽しさを味わうことができるよう、繰り返しを大切にしながら活動などに取り組みます。				
営業時間	8時	30分	17時	15分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食事は、咀嚼の状態を確認し、食事の形態や食材、食具などを考えます。水分摂取も、状態を見てコップの種類を変えながら進め、コップ飲み自立に向けていきます。 ・着脱は、手順カード提示や集中できるようにスペース作り、全身鏡などを用意することで自分で確認できるようにし、自立を目指します。 ・排泄は、排泄間隔を把握するために排泄チェックカードを使用したり、段階に応じて時間排泄の声掛けを行いトイレに誘います。排便も状況をみて家庭での取り組みと一緒に考えたり、拭き取り方などの練習をしていきます。 ・健康カードで睡眠や食事の状態、体調などを確認し、一人ひとりの生活習慣を知ることで健康や安全に留意していきます。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・歩く、走る、跳ぶ、揺れる、くぐる、跨ぐ、ジャンプ、バランスをとるなどの基本的な運動を繰り返し行うことを通して、姿勢保持や落ち着いて行動する事、集団生活での遊戯や運動に対する技術の向上を目指します。 ・手先の動きを促す紐通しや新聞遊び、シール貼り等の活動や粘土遊び、ボディペインティング等の感触遊びを通して手指の巧緻性を高めるとともに、様々な感触・感覚に触れ五感で感じ、情緒の安定や抵抗感の軽減に努めます。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・数える、見る、記憶する、考える、判断する、想像する等の経験として、カード遊びやお買い物ごっこなどに取り組む事で学習の土台となる力を育てていきます。 ・一人ひとりの認知・行動特性を理解し、こだわりなどの特性に対し、どのような支援で理解や自己表現を促していけるかを検討し、集団生活につなげていきます。 ・見通しを持って行動できるように、日々の活動の中で一日の流れを視覚的に提示していきます。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションがうまく取れない、言葉の遅れ、発音や聞こえ等に心配があるお子さんに対し、言語聴覚士による言語指導を実施します。 ・ごっこ遊びなどの主活動の他に、人と関わるやり取りや、人を意識するような取り組みを活動の随所に取り入れ、対人関係におけるコミュニケーション力の向上を育てていきます。 ・絵カードや手順カード、身振りやジェスチャーなどの方法で、お子さんが自ら思いを発信できるようにしていきます。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と心地よい関係を築くことから始め、友達への興味へと広がっていく様に職員が仲介しながら、同じ場や遊びの共有をし共感していくことで安心感を感じられるようにします。 ・友達や他の大人の真似遊びや、ルールのある遊びを通し相手を意識する力や協調する力を養っていくことで集団遊びを楽しめるようにし、社会性や集団参加の基礎を育てていきます。 			
家族支援	健康カードにて、生活リズムの確認を行っています。また、定期的なアセスメントや家庭訪問を行うことで、保護者の困りごとへの助言を行っています。いつでも相談できる様に事業所内相談も随時行っています。年に2回程度保護者会（お茶会）を実施し、保護者同士の交流の機会を作っています。	移行支援	幼稚園、こども園、保育所、小学校との情報交換を行っています。保育所等訪問支援も含め、園生活の困り感が軽減されるように、園職員との連携を図っています。		
地域支援・地域連携	地域の障がい者支援施設との乗馬体験や芋ほりなどの交流をしています。また、地域の産直センター、パン屋、コンビニ等とも連携し、買い物体験も行っています。同施設内の社会福祉協議会とも連携を図り、防災訓練などに取り組んでいます。	職員の質の向上	専門性を高めるための外部研修に参加しています。事業所内でテーマを決めた園内研修を行い、情報収集や知識の向上を図っています。年間3回の自己評価、および面談を通して、職員の質の向上を図っています。		
主な行事等	毎月の取り組みとして、運動遊び、感触遊び、製作遊び、音楽遊び、社会性・言語を育てる遊び等を行っています。また、季節の行事や、遠足、避難訓練、ビーバー号（歯科医師による歯科検診・ブラッシング指導）、夏には安全（熱中症対策や事故等）に留意しながら水遊びも行っています。お子さん一人ひとりに、専門的立場からの見解や指導として専門職指導（公認心理師、作業療法士、理学療法士、小児科医、音楽療法士）を行っています。				